



CellSource

2026年10月期第 3 四半期 決算説明資料

セルソース株式会社（東証スタンダード 4880）

2026年9月8日

- 1 CEOメッセージ
- 2 業績予想の見直し
- 3 2026年10月期 第3四半期業績
- 4 主要施策と進捗

過去課題の抜本整理を完遂し、利益創出力の本格回復

当社は本第3四半期において、過年度からの残存課題であった事業撤退および損失の処理を、今期中にすべて確定させるという経営判断を実行いたしました。将来の本社移転に伴う特別損失（見込み）、不採算店舗の閉鎖に伴う減損等の特別損失を一括計上し、これらの課題を来期以降に持ち越さない処理を確定させる方針を決定しました。

いずれも資産の評価見直し等に伴う一時的な会計処理であり、本業の収益力・キャッシュフロー創出力に影響を与えるものではありません。この結果、通期の最終損益は一時的に純損失を見込むものの、営業利益は前回発表予想比+303百万円の上方修正となる黒字転換を見込んでおります。

	FY10/2025 Q3 累計（連結）	FY10/2026 Q3 累計（個別）	前年同期比 （参考）
売上高	28.1億円	25.5億円	-9.2%
売上総利益	15.9億円	15.0億円	-5.6%
営業利益	1.2億円	1.7億円	+45.3%
四半期純利益	0.8億円	1.7億円	+102.2%

過年度の残存課題、損失処理を今期中に完了—— 将来リスクを来期以降に持ち越さない

本業の利益創出力も着実に回復しております。第3四半期累計の営業利益は179百万円（前年同期比+45.3%）、売上総利益率は58.9%（同+2.2pt）と、「100日プラン」で完遂したコスト構造正常化の成果が定量面で定着しております。

研究開発面でも、新しいエクソソーム加工技術の医療機関への提供開始（7月）等、公表済みの計画通りに進捗しております。

過去の整理を終えた当社は、来期を成長に集中する期と位置付け、引き続き結果で応えてまいります。

Wellness & Longevity 業態転換と、「もう一つの社会実装ルート」

当社の中長期的な戦略において、当社は単なる「再生医療」の枠を超え、Wellness & Longevity を新たな事業ドメインとして再定義してまいります。健康な人がより健康な状態を維持し、健康寿命を全うできるよう設計された医療・サービス・データ基盤の総体として、当社の事業を位置付け直します。中核技術である細胞治療を軸に、変形性関節症をはじめとする慢性疾患、お肌のメンテナンス医療、生殖補助医療、健康長寿の各領域に事業を展開してまいります。

創薬による薬事承認・保険収載という主流の社会実装ルートを補完するため、当社は「もう一つの社会実装ルート」の確立を今後の戦略的中核に据えます。再生医療等安全性確保法をはじめとする自由診療の枠組みを活用し、提携医療機関ネットワーク『約 2,200 施設』からリアルワールドデータを継続的に蓄積し、AI で分析・標準化し、現場へ還元するサイクルを回し続けることで、治療プロトコルを継続的に進化させてまいります。これは、創薬に要する10~15年の歳月とは異なる、より速く、より柔軟な細胞治療の社会実装ルートであり、当社が日本の医療産業の中で担うべき固有の役割であると認識しております。引き続き持続的な企業価値向上に向け、結果で応えることを経営の中核に据え、株主・投資家・提携医療機関・社員、そして患者さんに対し、責任を持って取り組んでまいります。

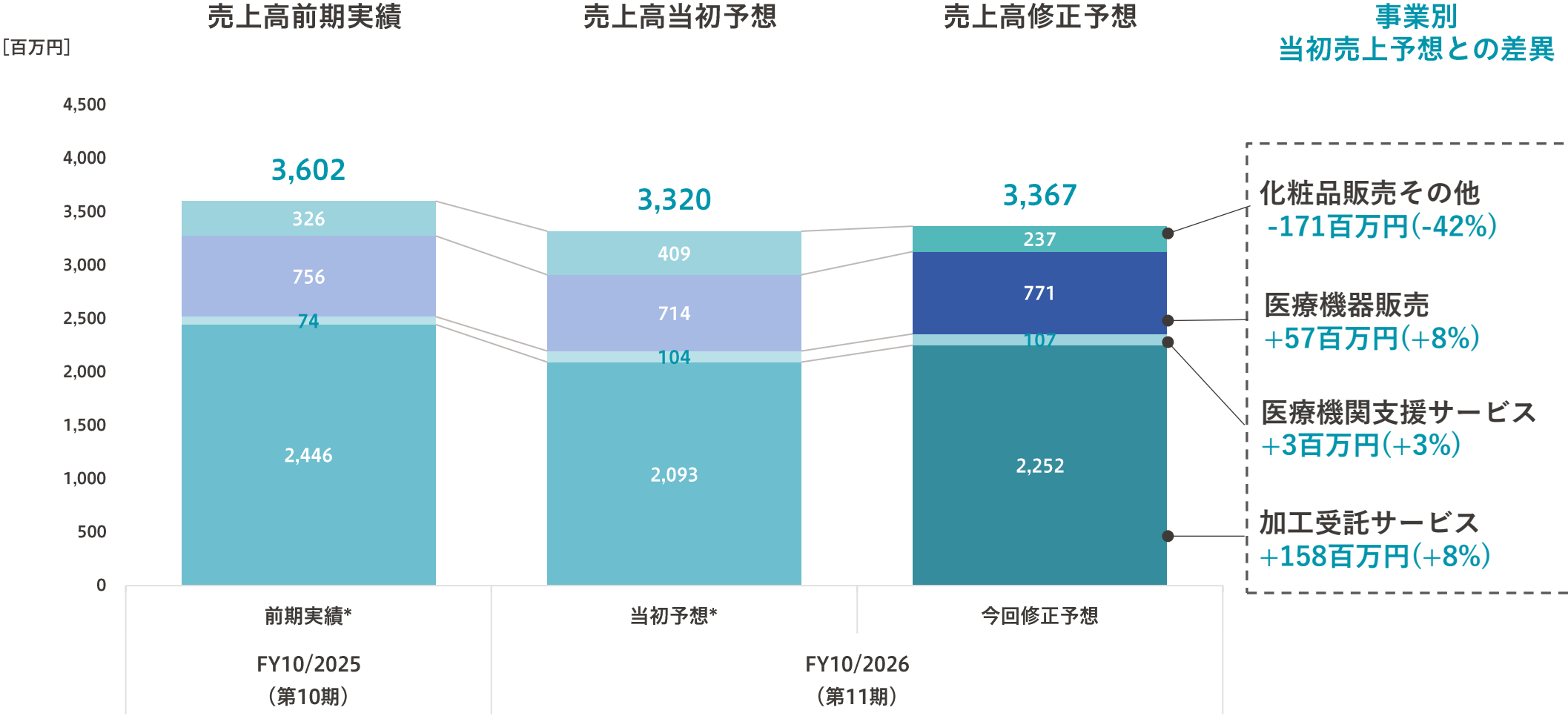
セルソース株式会社 代表取締役社長 CEO(医師) 山川 雅之

2026年10月期 業績予想の見直しについて

Q3までの進捗および子会社の吸収合併に伴う決算体制の変更を踏まえ、通期業績予想を修正

[百万円]	FY10/2026			
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想*（A）	3,320	-221	-210	-107
今回修正予想（B）	3,367	82	76	-124
増減額（B－A）	47	303	286	-16
増減率（％）	1.4％	-％	-％	-％
参考：前期個別実績 （2025年10月期）	3,602	115	122	-18
参考：前期連結実績 （2025年10月期）	3,711	166	167	10

売上高予想は47百万円の上方修正

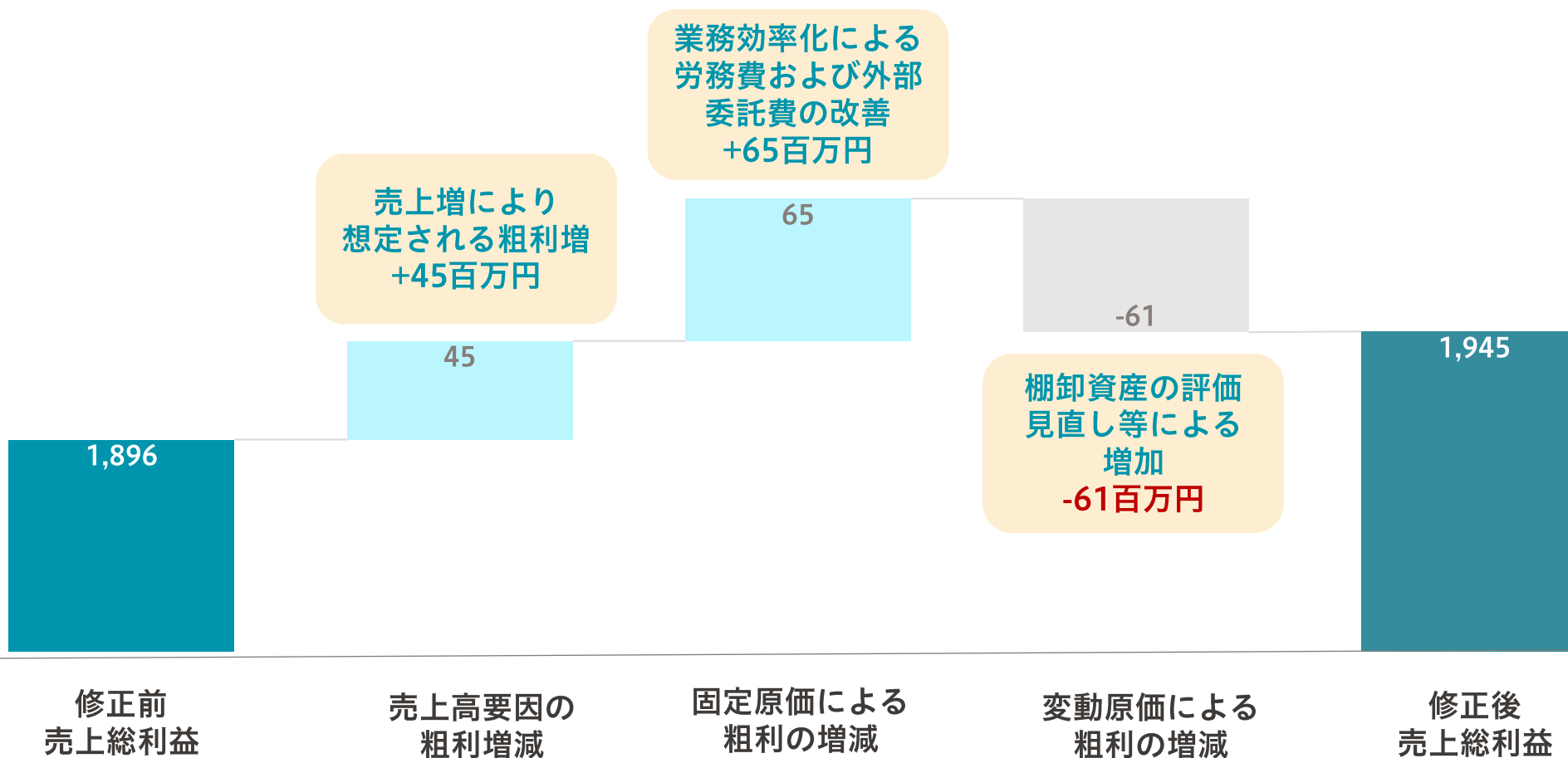


加工受託サービスを中心に、売上が期初予想を上回って推移

事業	売上高 修正額	サービス	要因
加工受託	+158百万円 (+8%)	自費診療特化型 整形外科	集患施策が当初の想定を上回ったため
		ハイブリッド型 整形外科	自由診療パッケージの奏功および既存院への支援強化により利用拡大が進んだため
		エクソソーム関連	需要拡大に伴う受注増加および新商品開始により売上が上回ったため
医療機関支援	+3百万円 (3%)	経営支援	FAST CLINICの経営支援開始等により、売上が想定をやや上回って推移したため
医療機器	+57百万円 (+8%)	医療機器販売	主力商品以外が販売伸長したため
化粧品販売 その他	-171百万円 (-42%)	睡眠	睡眠ブランド「PAJUU」のブランド認知の拡大に関し、当初想定より遅れが生じたため

売上高は想定を上回る一方、業務効率化による固定原価の削減等により売上総利益は想定を上回る見込み

[百万円]



* + は粗利改善、- は粗利悪化。

事業の選択と集中により広告宣伝費、業務委託費を中心に削減

事業	削減額	サービス	要因
加工受託	-49百万円	ハイブリッド型 整形外科	保守的な計画に対し広告宣伝費、業務委託費の見直しに伴う減少
化粧品販売 その他	-44百万円	PAJUU	睡眠ブランド「PAJUU」の売上修正による費用の見直しに伴う減少
新規事業	-130百万円	リハスル	選択と集中による撤退に伴う減少
その他事業部 (間接部門含)	-31百万円	その他	業務効率化による人件費、業務委託費の見直しに伴う減少
合計	- 254百万円	—	—

資産の評価見直し等に伴う特別損益を計上（見込み）

No.	項目	計上時期	金額	内容
1	本社移転に伴う特別損失（見込み）	4Q計上見込み	-290百万円	本社移転に伴う費用（固定資産の減損損失 249 百万円及び事務所移転費用引当金繰入額 40 百万円）290 百万円を特別損失として計上する見込み
2	メディカルフィットネスジム1号店閉鎖に伴う固定資産減損損失	1Q計上済み	-11百万円	第1四半期において不採算店舗の閉鎖を決定したことに伴い、関連する事業用資産について減損損失を計上
3	子会社吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差益	3Q計上済み	+65百万円	子会社を吸収合併したことに伴い、保有していた同社株式（抱合せ株式）が消滅したことによる差益を特別利益として計上

第1部

2026年10月期 第3四半期業績

売上高

25.5億円

（前年同期比-9.2%）

前期参考（連結）**28.1**億円

売上総利益

15.0億円

（前年同期比-5.6%）

前期参考（連結）**15.9**億円

営業利益

1.7億円

（前年同期比45.3%）

前期参考（連結）**1.2**億円

四半期純利益

1.7億円

（前年同期比102.2%）*

前期参考（連結）**0.8**億円

血液由来 加工受託件数

14,463件

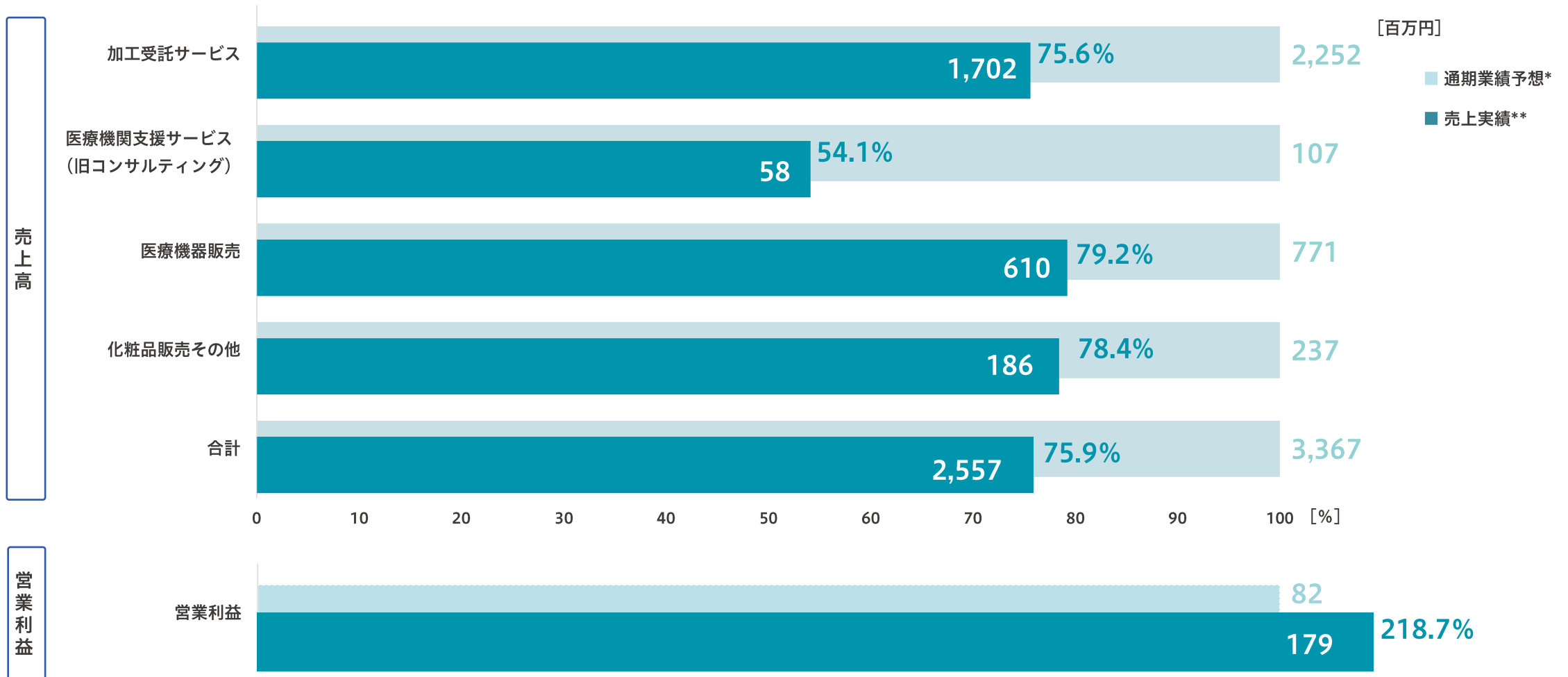
（前年同期比-2.3%）

脂肪由来幹細胞 加工受託件数

795件

（前年同期比-26.6%）

Q3累計売上高は修正後通期予想に対して概ね計画通りに進捗。
販売管理費のコントロール継続により、営業利益はQ2に続き黒字で着地



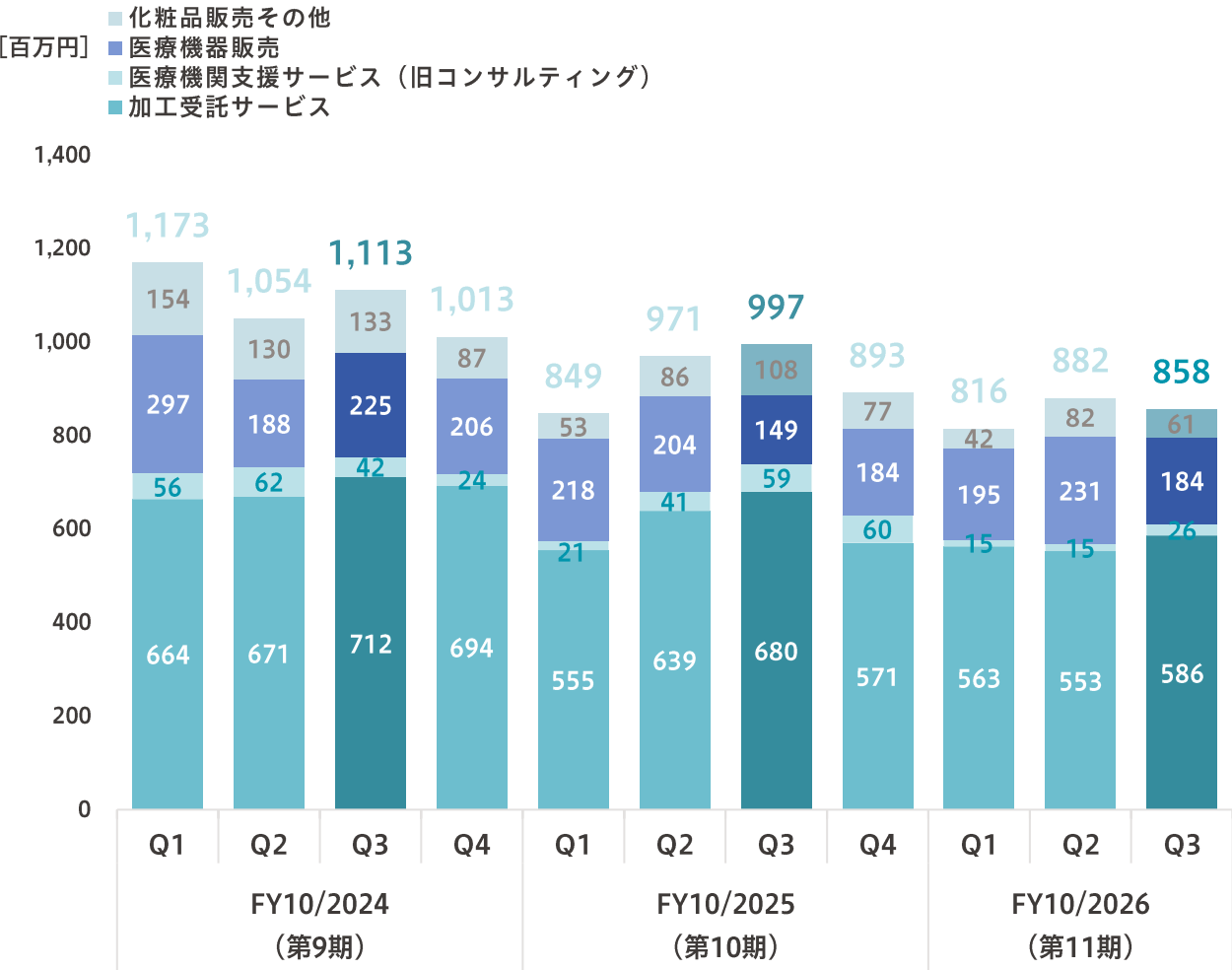
加工受託サービス、化粧品販売その他の売上の減少により前Q比および前年同期比で減収となるも
計画的なコストコントロールにより前Q比および前年同期比ともに増益

[百万円]	FY10/2026 Q2（個別）	FY10/2026 Q3（個別）	前Q比	FY10/2025 Q3 累計（連結）	FY10/2026 Q3累計（個別）	前年同期比 （参考）	通期業績 予想	進捗率
売上高	882	858	-2.7%	2,818	2,557	-9.2%	3,367	75.9%
売上総利益	514	511	-0.5%	1,597	1,507	-5.6%	-	-
売上総利益率	58.3%	59.6%	+1.3pt	56.7%	58.9%	+2.2pt	-	-
営業利益	46	98	+111.3%	123	179	+45.3%	82	218.7%
営業利益率	5.3%	11.5%	+6.2pt	4.4%	7.0%	+2.6pt	-	-
経常利益	38	100	+163.2%	127	174	+36.3%	76	226.5%
四半期純利益	25	130	+407.2%	86	174	+102.2%	-124	-

- **売上高**：前Q比は医療機器販売が減収、前年同期比は加工受託サービスの減収により-9.2%
- **売上総利益率**：前Q比および前年同期比は改善
- **営業利益率**：販売管理費の抑制により前Q比、前年同期比ともに改善
- **四半期純利益**：子会社吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差益65百万円および法人税等調整額（損）38百万円の計上により前Q比および前年同期比は改善
- **加工受託件数**：ハイブリッド型整形向けの伸長により加工受託件数は前Q比増。自費診療特化型整形向けの件数減少により前年同期比減

血液由来加工受託件数 （件）	4,849	4,867	+0.4%	14,798	14,463	-2.3%
脂肪由来幹細胞加工受託 件数（件）	264	277	+4.9%	1,083	795	-26.6%

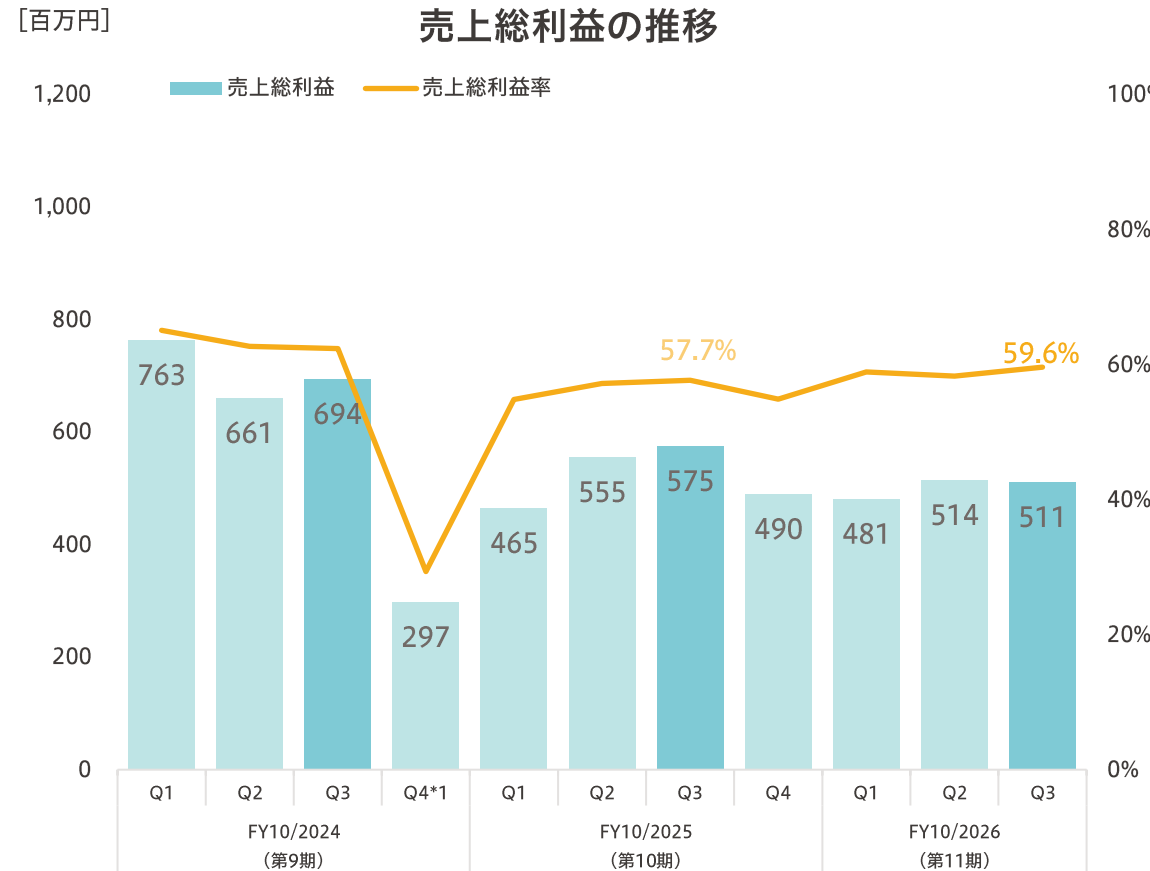
医療機関支援サービスは吸収合併に伴う単体決算移行の影響で前年同期比で減収。
加工受託サービスはハイブリッド型整形向けが伸長するも自費診療特化型整形向け需要の減少により減収



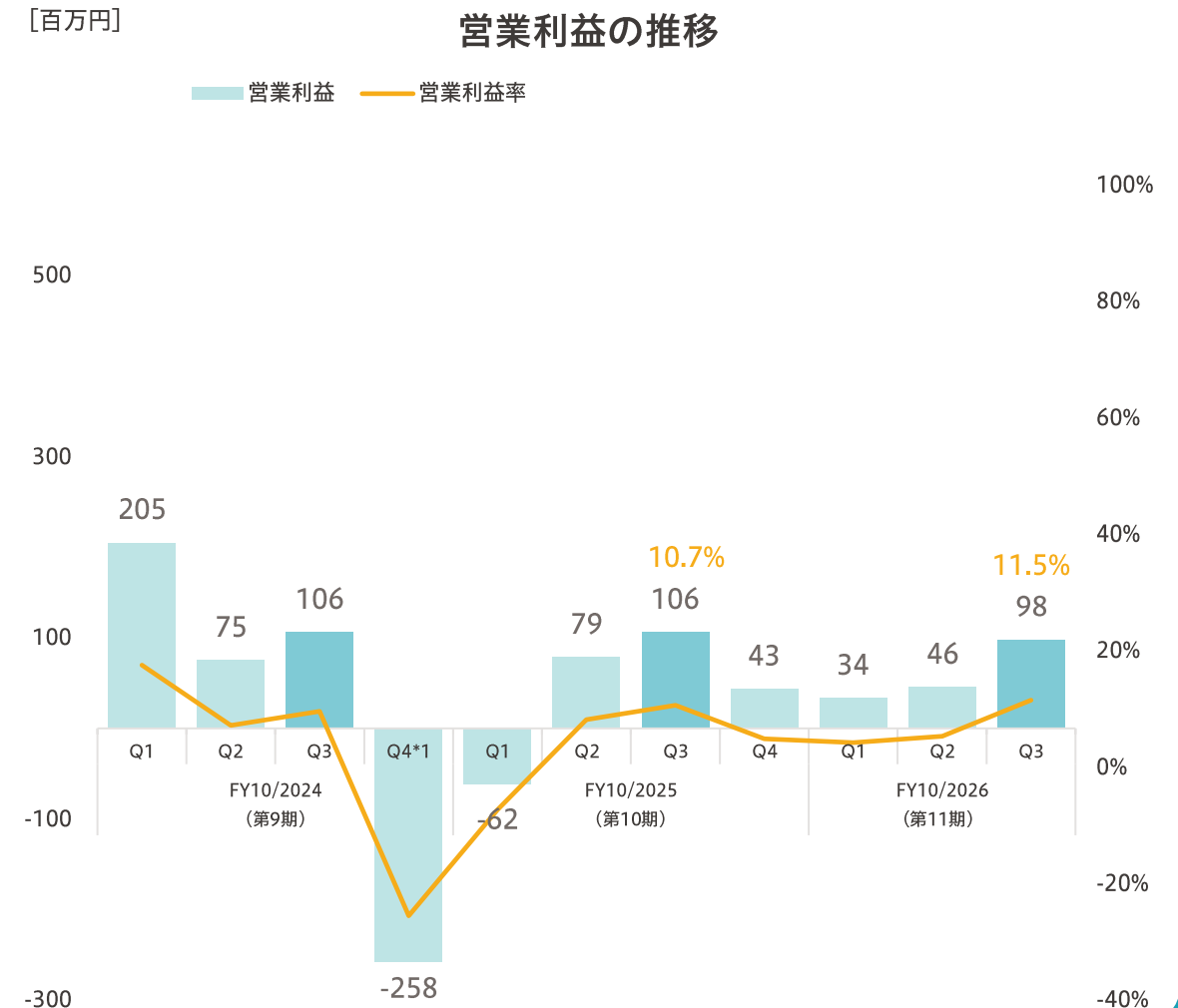
前期Q3累計 （連結）	当期Q3累計 （個別）	前年同期比 （参考）
合計（百万円）		
2,818	2,557	-9.2%
加工受託サービス		
1,874	1,702	-9.2%
医療機関支援サービス（旧コンサルティング）		
122	58	-52.5%
医療機器販売		
572	610	+6.6%
化粧品販売その他		
248	186	-25.1%

16 ※2026年10月期第3四半期より、子会社（ハイブリッドメディカル株式会社）の吸収合併に伴い単体決算に移行。
前期実績・前Qとは比較の基準が異なるため、参考として、連結ベースの実績および前年同期比を一部併記しています。

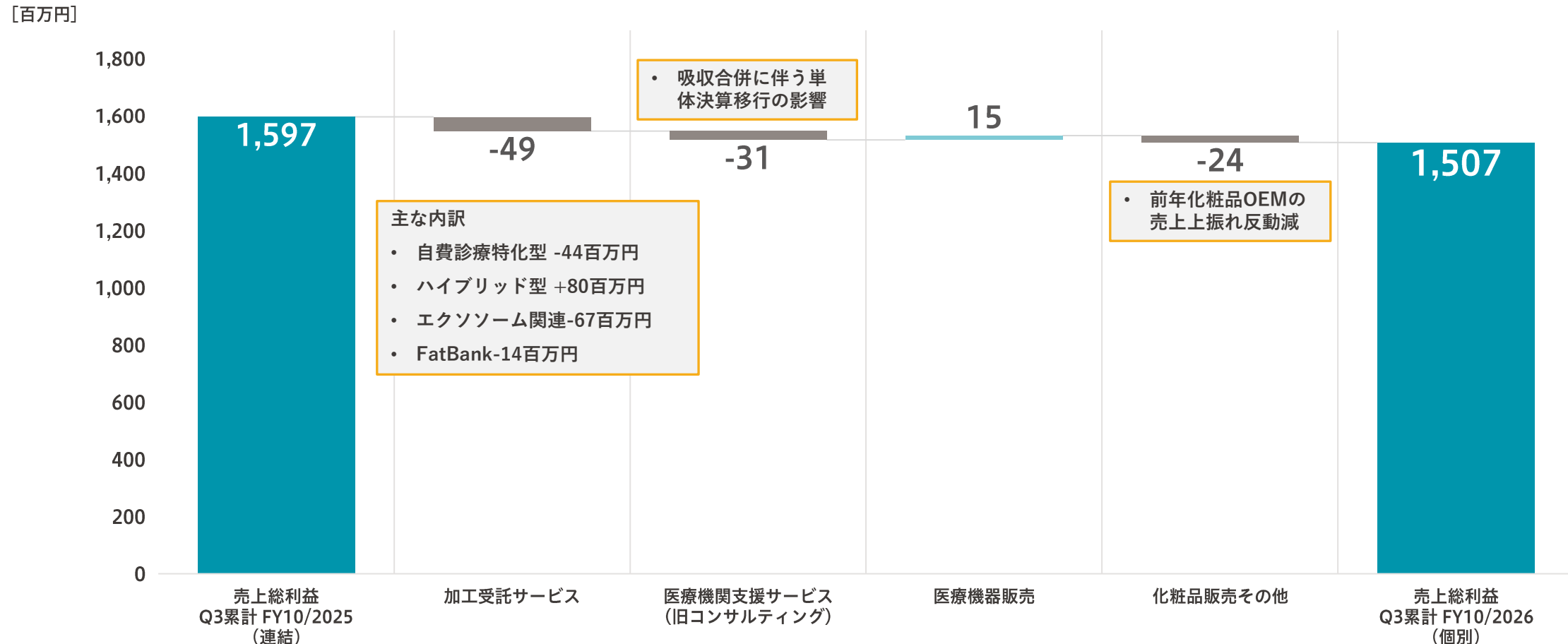
売上総利益、営業利益ともに前年同期比が減少となるも
事業効率の改善により売上総利益率、営業利益率は前Q比および前年同期比で改善傾向



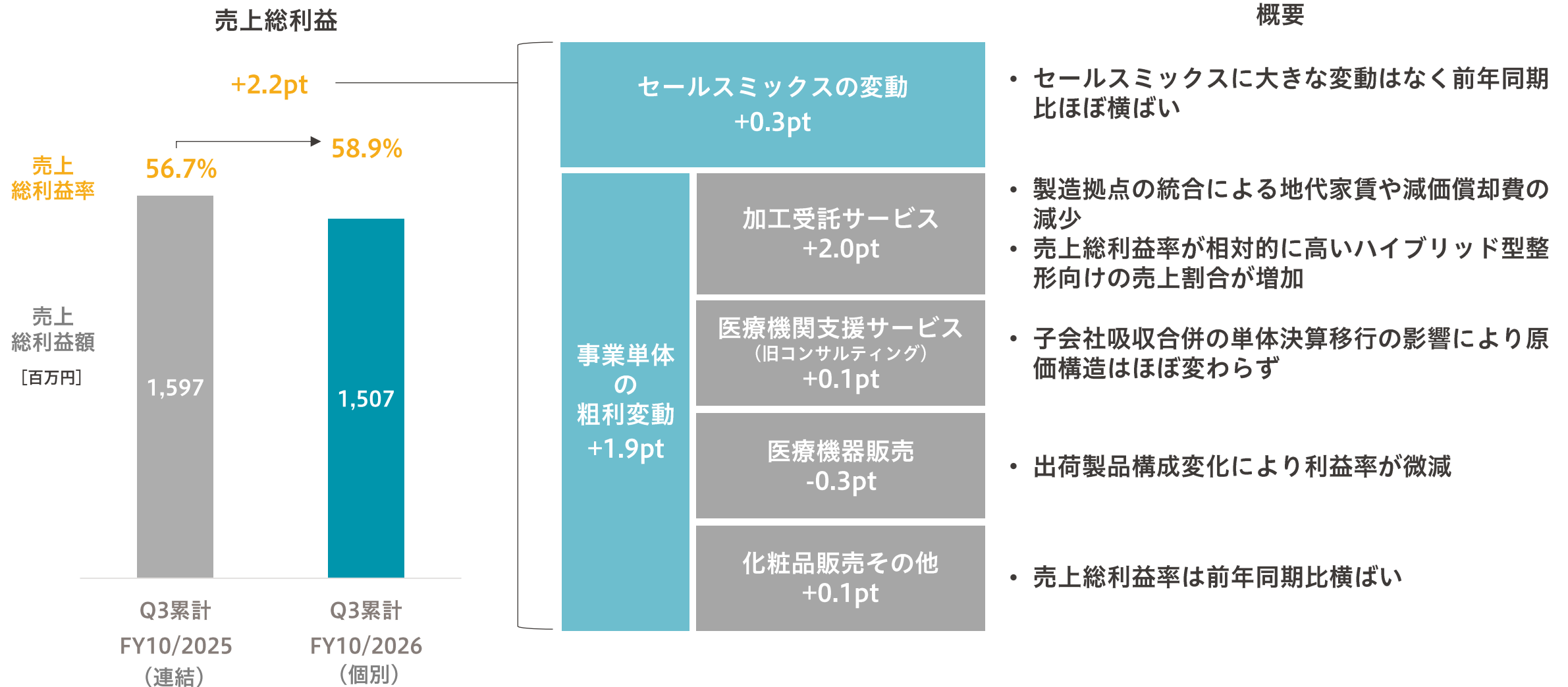
*1: Q4 FY10/2024計上の滑膜由来幹細胞加工受託サービスに係る契約損失引当金の計上が発生



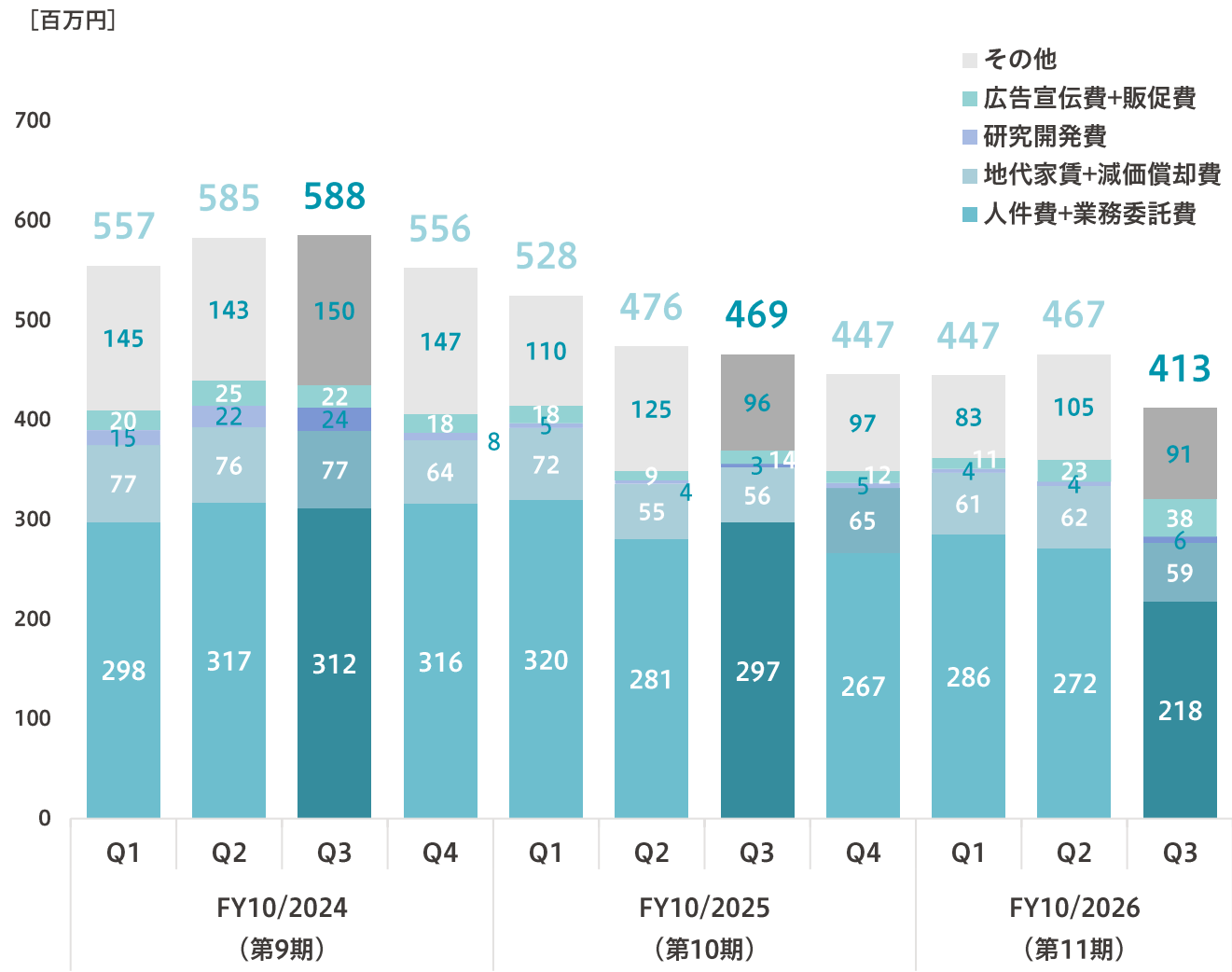
医療機関支援サービスは吸収合併に伴う単体決算移行の影響で前年同期比で減収。
加工受託サービスにおけるハイブリッド型整形向けが伸長するも減収で前期比-90百万円



主に加工受託サービスの粗利率改善により売上総利益率は前年同期比+2.2pt改善

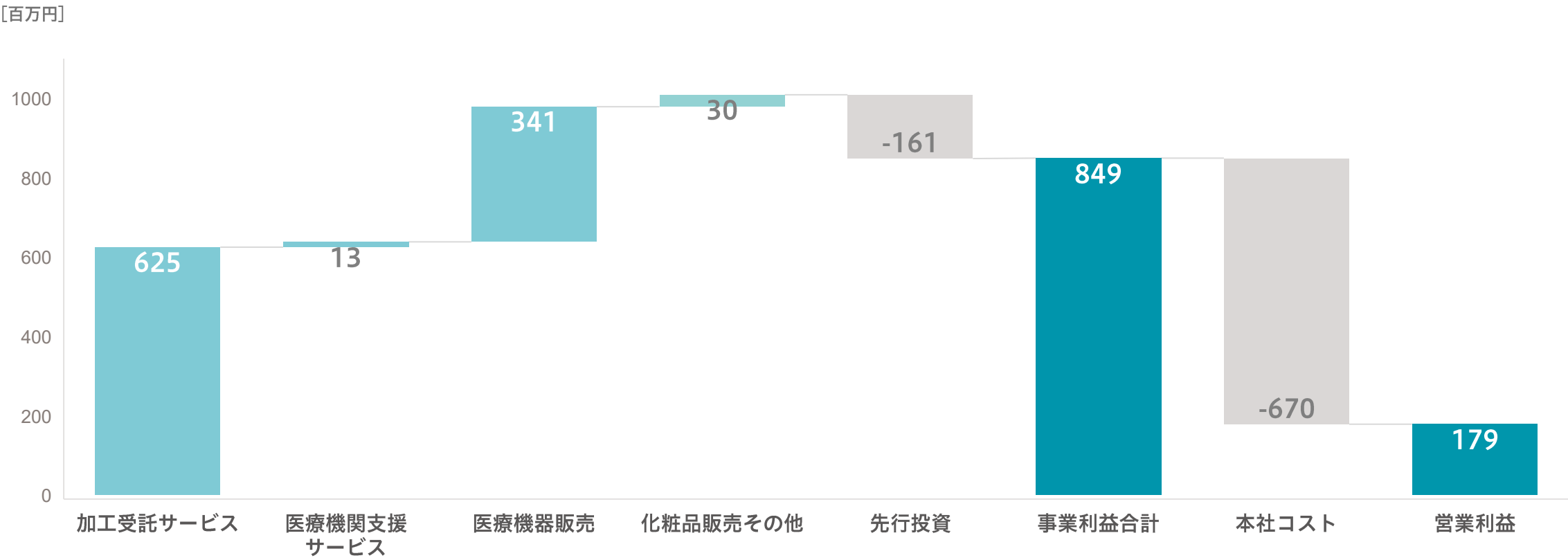


先行投資に伴う広告宣伝費及び研究開発費は増加したものの
継続的なコスト最適化により累計期間における販管費は前年同期比-9.9%



前期Q3累計 (連結)	当期Q3累計 (個別)	前年同期比 (参考)
合計		
1,473	1,328	-9.9%
人件費+業務委託費		
899	776	-13.6%
地代家賃+減価償却費		
184	182	-1.2%
研究開発費		
14	15	+9.8%
広告宣伝費+販促費		
42	73	+73.4%
その他		
333	280	-15.9%

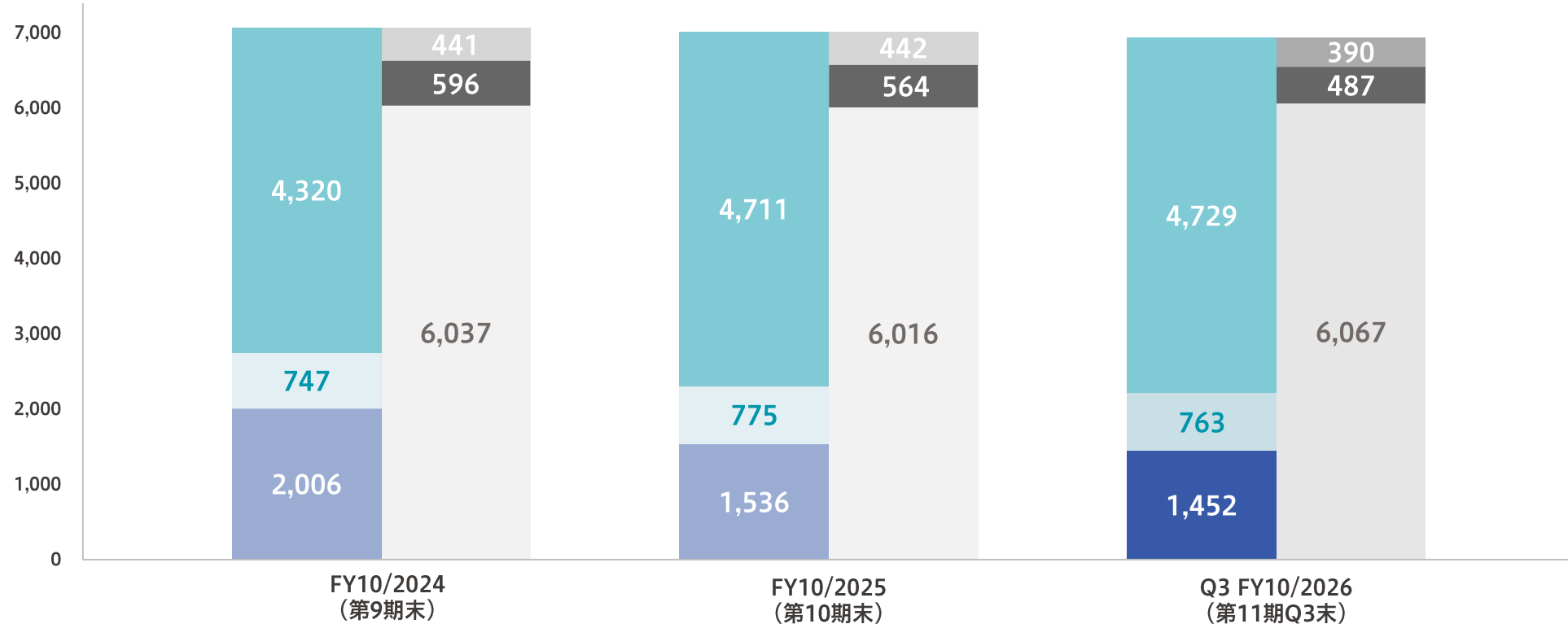
既存事業の収益性を維持しつつ、戦略的投資を計画通り実行



BS項目はQ3で大きな増減無く、引き続き健全な財務基盤を維持

[百万円]

- 現預金
- その他の流動資産
- 固定資産
- 流動負債
- 固定負債
- 純資産



第2部

主要施策と進捗

施策概要

進捗

01. 研究開発

- ①研究開発提携（無血清培養）を通じたASCの品質向上・応用領域拡張
- ②高品質エクソソーム加工技術基盤の確立

- ①研究開発から得られた知見をもとに無血清培養の製造体制を整備完了。提携医療機関と臨床応用に向けた規格整備・運用最適化を推進中
- ②加工技術基盤を確立し、技術提供を開始（7月）

02. コンシューマー事業：第二の収益柱

- ①既存ブランドの刷新
- ②新規ブランドの展開

- ①「Signalift」保湿力使用感を刷新しリニューアル（2月）
- ②睡眠ブランド「PAJU」の事業展開（4月）

03. インバウンド：内なるグローバル化

- ①CPCの信頼性・品質を訴求するプロモーション設計
- ②事業推進に向けたネットワーク構築

- ①ブランド・品質を訴求するCPCプロモーション動画完成
- ②インバウンド関連企業・医療機関とのネットワークを構築、インバウンド集客・サービス提供に向けた基盤を整備

04. 自費診療領域への導入支援

- ①自費診療パッケージの標準化による早期立ち上げ支援
- ②理学療法士の介入による診療プロセス高度化・成約率向上

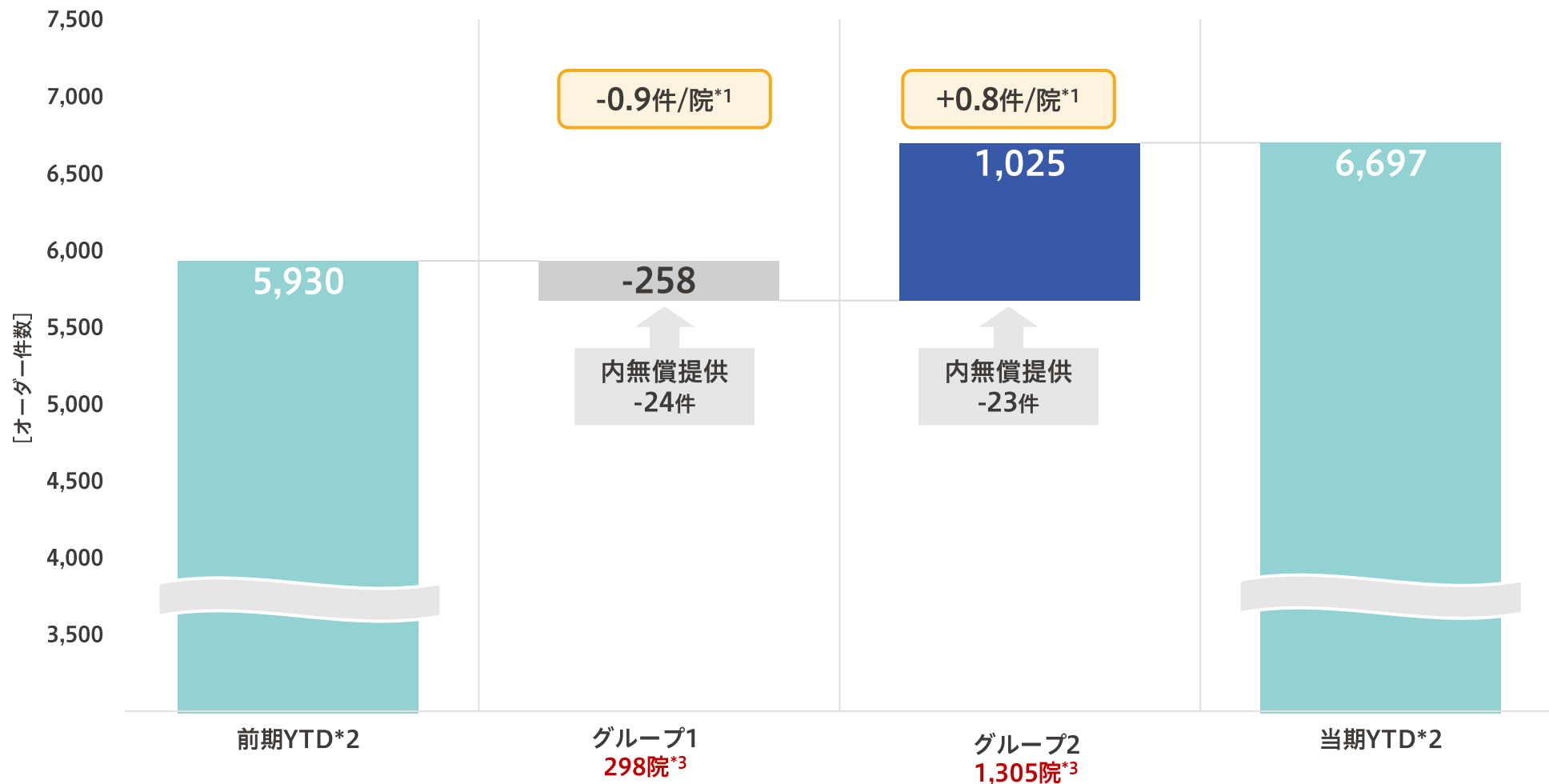
- ①支援体制の構築完了と運用の本格化。ハイブリッド型整形のオーダー増に貢献
- ②高度化の一環として理学療法士の育成プログラムに着手済

05. 自費診療特化型医療機関支援

- ①集患および成約率の同時改善
- ②固定費削減、コスト管理体制の構築

- ①Web施策刷新（Ad/SEO）により集患および予約率は改善傾向。
- ②固定費は計画における削減は完了（7月）

グループ2は新規提携院の立ち上げ支援等の推進により前年同期比1,025件増、全体では同767件増



グループ1:
一定の営業リソースを
継続的に投下し、オー
ダー件数の維持および
安定的な底上げを図る
グループ

グループ2:
新規提携院に注力し、
オーダー件数を強化し
ていくグループ

無償提供:
スポーツチーム等との
メディカルバックアッ
プ契約に基づく提供分

*1: 対象期間のオーダー件数を*3の院数で除した値

*2: 前期:2024年11月～2025年7月、当期:2025年11月～2026年7月

*3: 2026年7月末時点の院数

自費診療特化型整形向けはオーダー数の減少が続く。
ハイブリッド型整形向けは施策の効果が続出し、オーダー数は増加

	FY10/2025		FY10/2026		FY10/2025		FY10/2026		FY10/2025		FY10/2026		
	自費診療特化*1		ハイブリッド*2		全体								
	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	Q3	
提携医療機関数 (院)	13	11	1,454	1,575	1,467	1,586							① 院あたりオーダー数は減少
×													
アクティブ率*3 (Q)	100.0%	100.0%	35.3%	34.2%	35.9%	34.7%							② アクティブ率は微減し、アクティブ医療機関数は前期比4.9%増
×													
アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件/Q)	197.7	189.5	4.0	4.4	8.8	8.1							③ 施策の効果が発現し、上昇基調
オーダー数 (件/Q)	2,570	2,084	2,064	2,377	4,634	4,461							

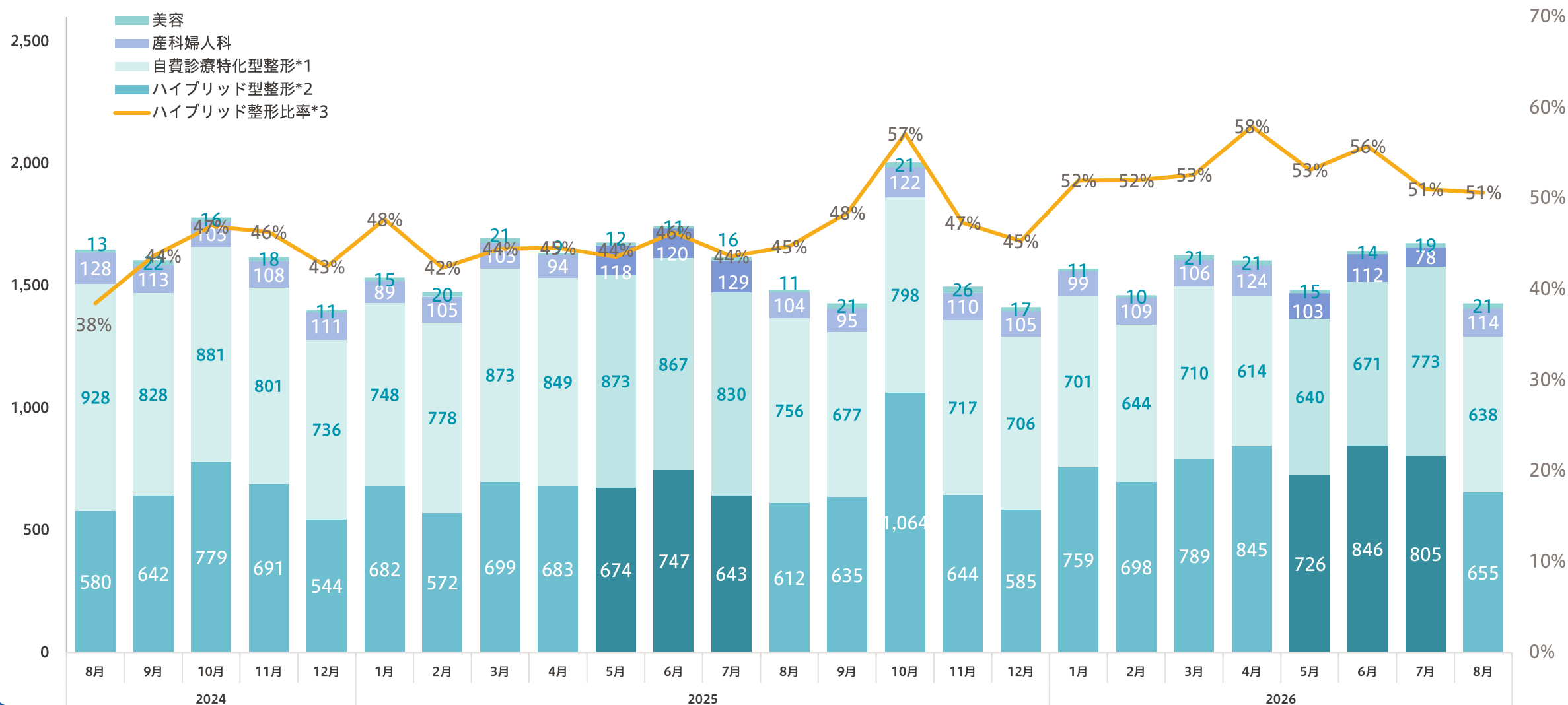
*1: 自費診療特化型の整形外科のうち、主力のクリニックグループを指す。自費診療特化型医療機関の閉院件数を控除

*2: 整形外科のうち、*1の自費診療特化型クリニックグループを除く医療機関

*3: 明記した四半期の間に、1件以上オーダーのあった医療機関の比率

[件数]

当四半期累計ではハイブリッド型整形向け受託件数は前年同期比を上回り
自費診療特化型整形向け受託件数を超えた。美容の受託件数においても前年同期比増



ソラリスバイオとの「細胞外小胞（エクソソームを含む）」のフリーズドライ（凍結乾燥）技術を共同開発 ～ 品質を維持した保存・輸送を容易にし、実用化に向けた技術基盤を確立 ～

当社と、ソラリスバイオ株式会社（代表取締役社長：石川 格靖、以下「ソラリスバイオ」）は、細胞から分泌される細胞外小胞(エクソソームを含む)について、その品質を維持したままフリーズドライ（凍結乾燥）加工する技術を共同開発いたしました。なお、セルソースでは本技術を活用したフリーズドライ加工について一部の受託案件を対象に技術提供を開始しており、ソラリスバイオでは本技術を活用したフリーズドライ用保存液の将来的な一般販売に向けて準備を進めています。

【開発の背景と目的】

「エクソソーム」は細胞から分泌される微小な物質（細胞外小胞）の一種であり、再生医療やドラッグデリバリーシステム、悪性腫瘍などの診断マーカーなど幅広い分野で研究・活用が進んでいます。一方で、従来のエクソソームの品質維持には厳格な低温管理が必要であり、保存・輸送の難しさが普及に向けた課題となっていました。そのため、品質を損なうことなく取り扱いを容易にするフリーズドライ技術をはじめとする技術確立が強く望まれていました。両社は2025年7月22日付で締結した包括的業務提携契約に基づき、再生医療分野に不可欠な製品の共同開発や、高品質な細胞関連製品の確立に向けて連携を深めて参りました。今回の成果はその一環であり、エクソソームの保存・輸送における利便性を高め、活用における選択肢の拡大を図ることを目的としています。

【概要】

本開発では、両社の専門的な知見と技術を組み合わせることで、課題を克服いたしました。

ソラリスバイオの強み：動物原料を使用しない培地・有機溶媒を使用しない細胞凍結保存液の開発で培った知見・技術

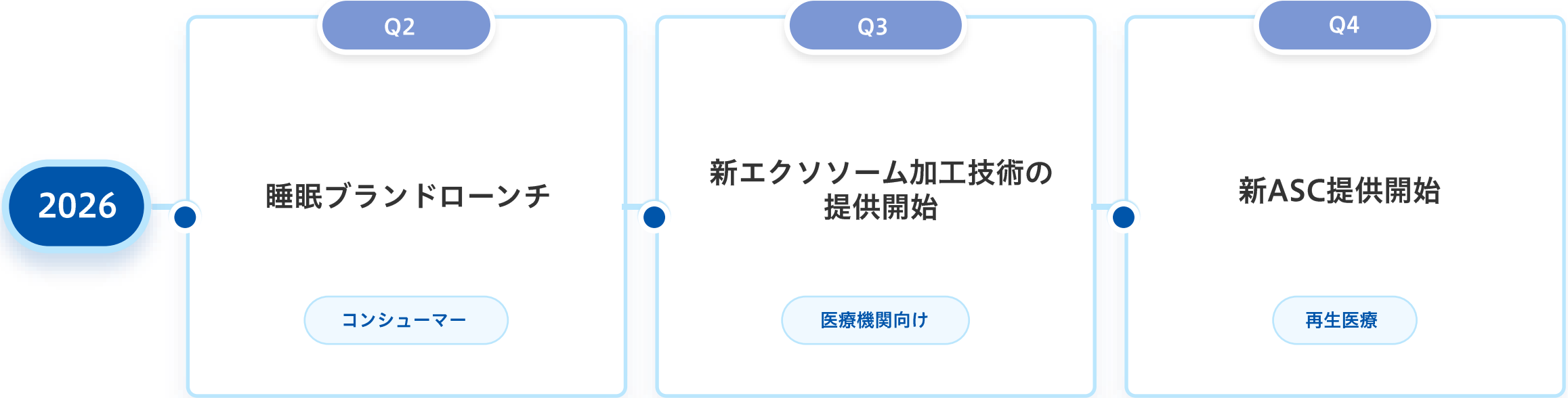
セルソースの強み：高品質な細胞・エクソソームの製造技術・品質管理技術、血小板由来血漿製剤（PFC-FD™）の

凍結乾燥に関連する知見・技術

これらを融合させ、エクソソームを保護するための成分やフリーズドライ工程の条件を検討した結果、品質を保ったままフリーズドライ化することに成功しました。今回の共同開発で得られた成果については、今後、国内外における知的財産の権利化を進め、継続的な発展につなげていく予定です。

【今後の展望】

本技術の確立により、エクソソームを容易に保存・輸送することが可能となり、エクソソームの活用における選択肢が大きく広がりました。これにより保存・輸送に伴う負担が軽減されるだけでなく、国内外での新たな協業や事業展開の起点となることが期待されます。両社は今後、一部の受託案件を通じて検証と改良を重ね、本技術のさらなる向上を図ります。同時に、再生医療・エクソソーム関連分野の発展に貢献し、医療機関をはじめとするお客さまへの新たな価値の提供に取り組んでまいります。



*第10期通期決算資料の再掲

各種KPI Appendix

期末提携
医療機関数

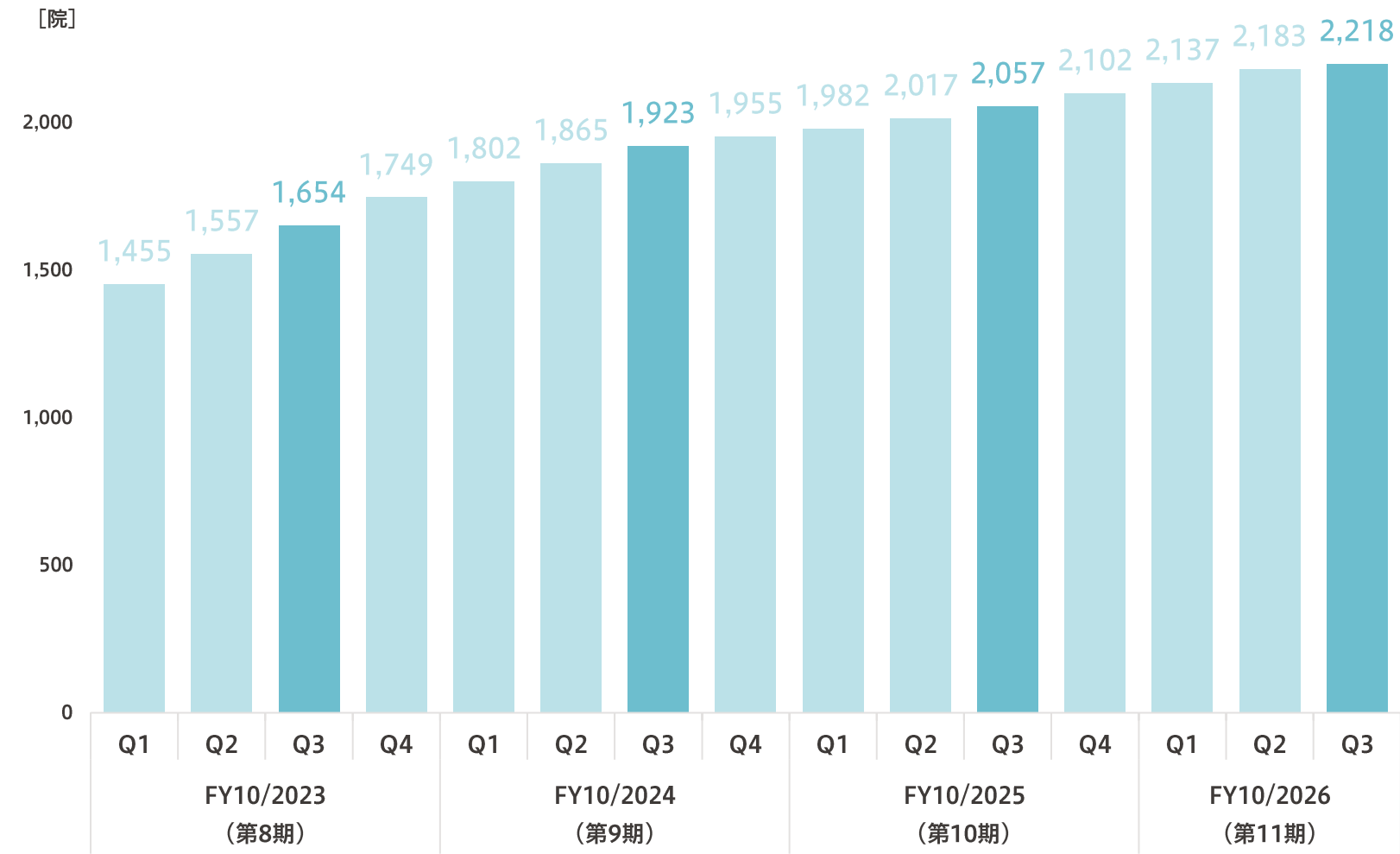
2,218院
(前年同期比+161院)

血液由来
加工受託件数(当期累計)

14,463件
(前年同期比-2.3%)

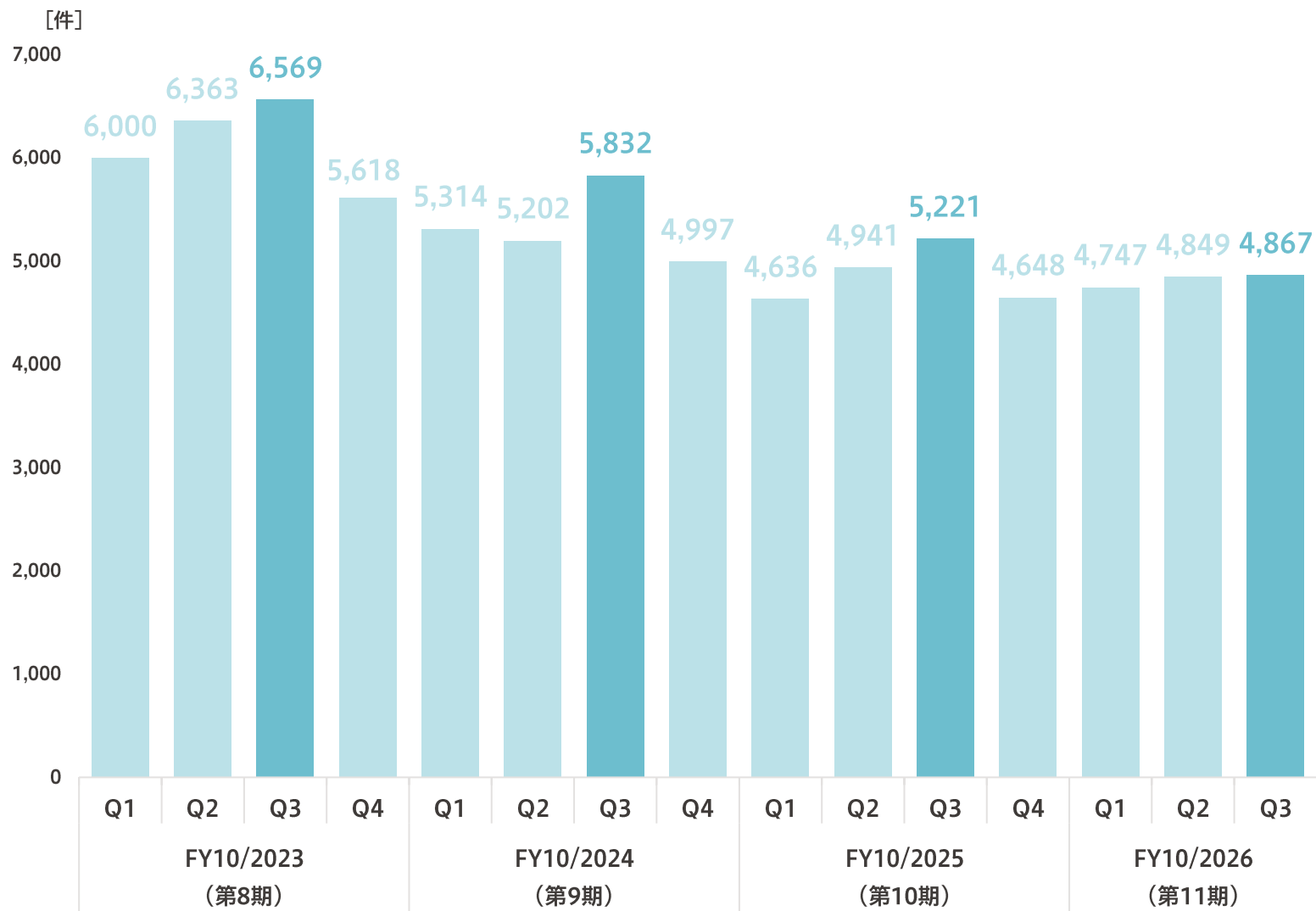
脂肪由来幹細胞
加工受託件数(当期累計)

795件
(前年同期比-26.6%)



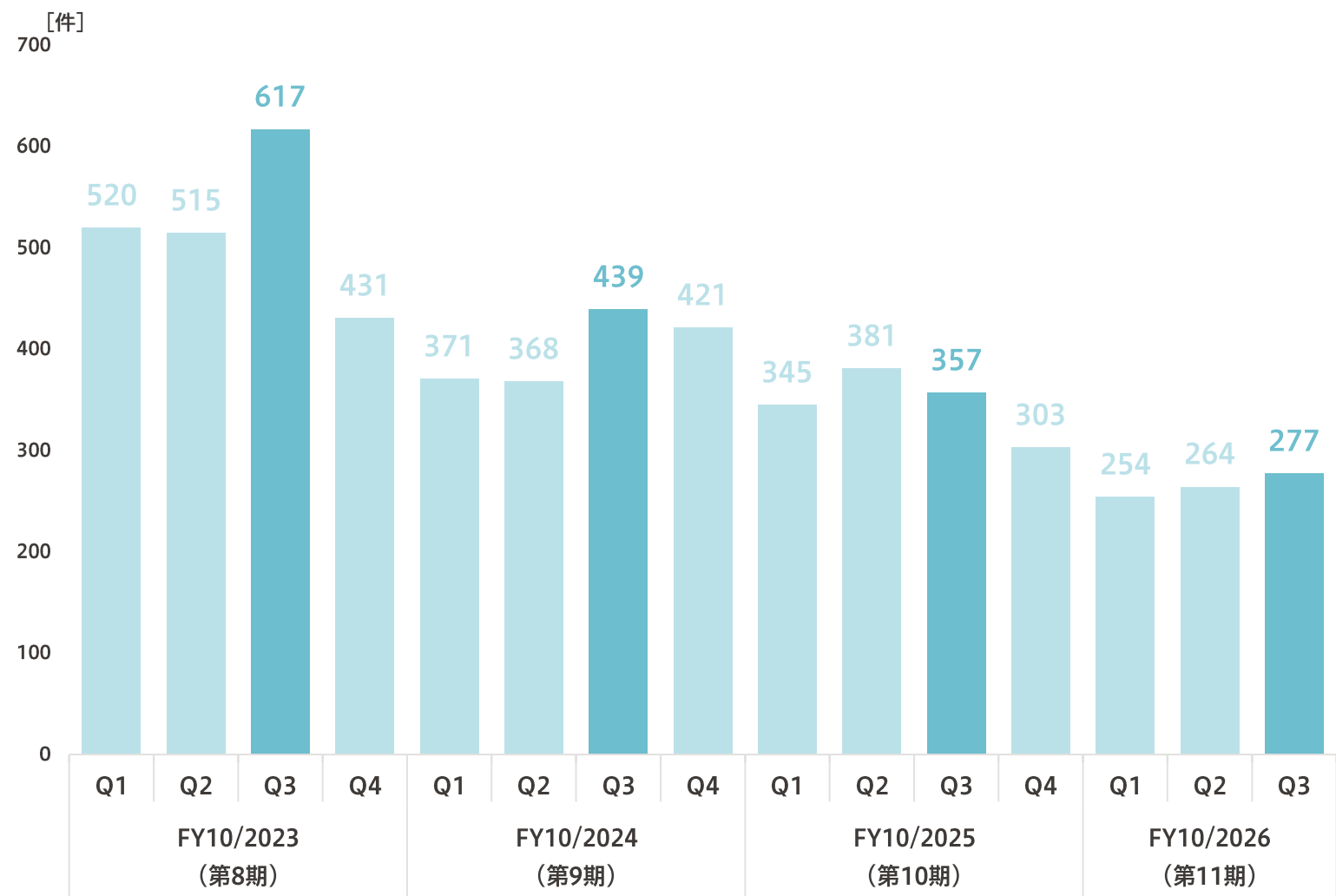
当四半期末 **2,218** 院
(前年同期比 +161 院)

*1: 自費診療特化型医療機関の閉院件数を控除



当四半期計 **4,867** 件
(前年同期比 -6.8%)

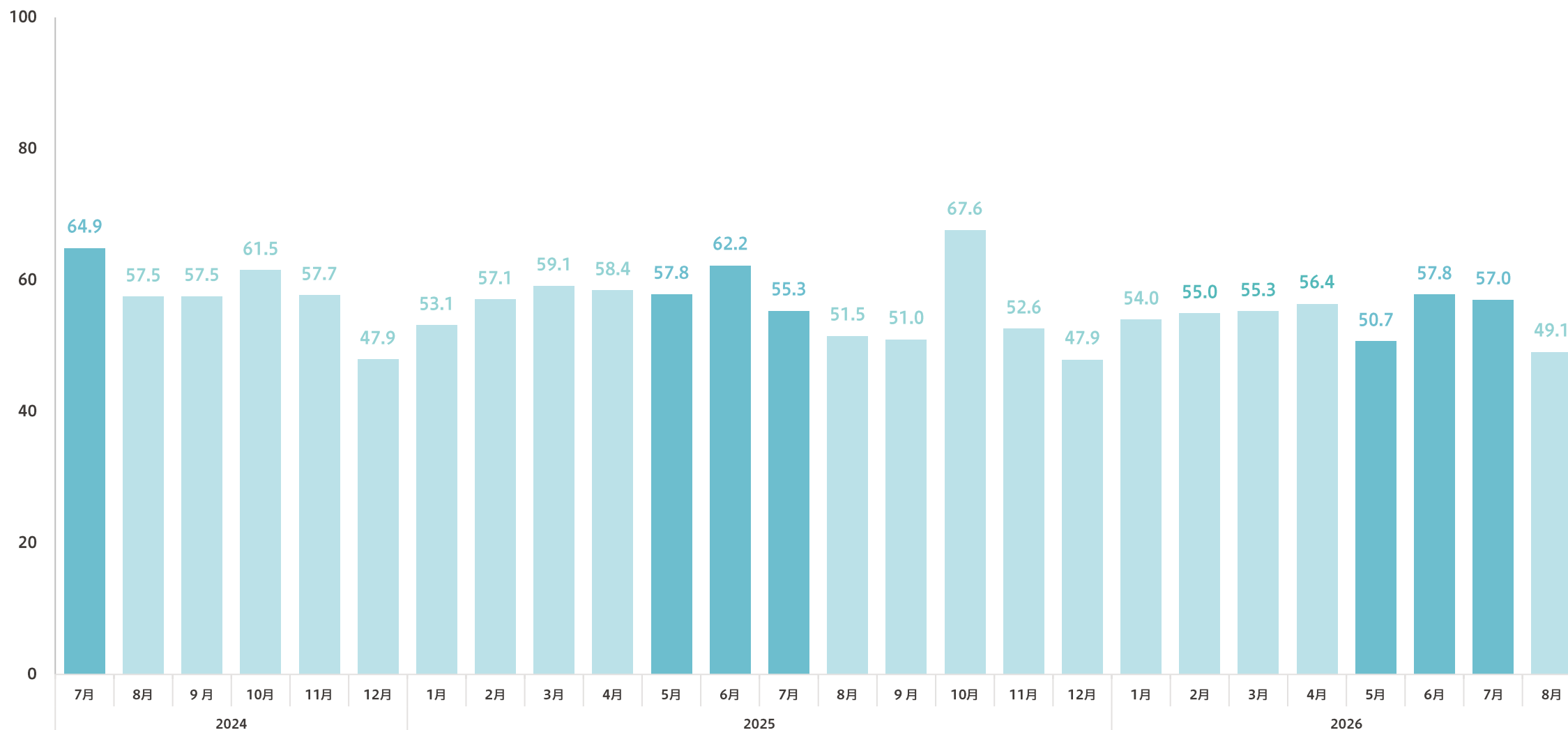
累計 **128,924** 件



当四半期計 **277** 件
(前年同期比 -22.4%)

累計 **11,400** 件

[件数]



血液由来加工受託サービスのオーダー数を構成する各種KPI

		FY10/2025				FY10/2026			Q4/FY2024 ~ Q3/FY2025	Q4/FY2025 ~ Q3/FY2026
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	直近12ヵ月 間	直近12ヵ月 間
自費診療特化 型 ^{*1}	期末提携医療機関 (院)	15	15	13	13	13	13	11	13	11
	アクティブ率 ^{*3}	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	152.1	166.7	197.7	171.6	163.4	151.4	189.5	768.4	764.3
	オーダー数 (件)	2,282	2,500	2,570	2,231	2,124	1,968	2,084	9,989	8,407
ハイブリッド 型 ^{*2}	期末提携医療機関 (院)	1,393	1,421	1,454	1,491	1,523	1,555	1,575	1,453	1,575
	アクティブ率 ^{*3}	34.8%	34.3%	35.3%	31.7%	33.2%	34.7%	34.2%	51.6%	47.6%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	3.9	4.0	4.0	4.9	3.9	4.3	4.4	10.6	12.0
	オーダー数 (件)	1,912	1,954	2,064	2,311	1,988	2,332	2,377	7,933	9,008
全体	期末提携医療機関 (院)	1,408	1,436	1,467	1,504	1,536	1,568	1,586	1,466	1,586
	アクティブ率 ^{*3}	35.5%	35.0%	35.9%	32.2%	33.7%	35.2%	34.7%	52.0%	48.0%
	アクティブ医療機関 あたりオーダー数 (件)	8.4	8.9	8.8	9.4	7.9	7.8	8.1	23.5	22.9
	オーダー数 (件)	4,194	4,454	4,634	4,542	4,112	4,300	4,461	17,922	17,415

(百万円)		FY10/2024				FY10/2025*				FY10/2026		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3
売上高		1,173	1,054	1,113	1,013	849	971	997	893	816	882	858
	加工受託サービス	664	671	712	694	555	639	680	571	563	553	586
	医療機関支援サービス (旧コンサルティング)	56	62	42	24	21	41	59	60	15	15	26
	医療機器販売	297	188	225	206	218	204	149	184	195	231	184
	化粧品販売その他	154	130	133	87	53	86	108	77	42	82	61
販売管理費		557	585	588	556	528	476	469	447	447	467	413
営業利益		205	75	106	-258	-62	79	106	43	34	46	98
四半期純利益		143	156	74	-136	-45	56	75	-75	17	25	130

総資産	6,807	6,876	6,864	7,074	6,882	6,941	7,309	7,023	6,835	6,909	6,945
純資産	5,960	6,096	6,170	6,037	5,893	5,947	6,094	6,016	5,905	5,935	6,067

EBITDA	234	110	145	-206	-5	128	160	98	80	93	146
FTE*1	208	211	207	204	195	182	187	186	179	158	145
一人当たりEBITDA (千円) *2	1,129	522	702	-1,012	-26	707	861	527	447	594	1,010

加工受託件数*3 (件)	5,685	5,570	6,271	5,418	4,981	5,322	5,578	4,951	5,001	5,113	5,144
脂肪由来幹細胞加工受託件数 (件)	371	368	439	421	345	381	357	303	254	264	277
血液由来加工受託件数 (件)	5,314	5,202	5,832	4,997	4,636	4,941	5,221	4,648	4,747	4,849	4,867
期末提携医療機関 (院)	1,802	1,865	1,923	1,955	1,982	2,017	2,057	2,102	2,137	2,183	2,218

38 *1: FTE (フルタイム当量) = 社員の総労働時間 ÷ (勤務日数 × 8時間)
*2: 分母の人員数は、FTEを使用
*3: 滑膜由来幹細胞加工受託件数を含まない

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、市場環境、法的規制、品質・安全性の確保及び製造体制、特定の取引先、風評リスク、研究開発、広告宣伝戦略、システム障害等が含まれます。



CellSource